

C.C.C. 史上初の金賞・特別賞をW受賞
小林 愛花さん・35歳 千代田町

輝くチョコレートで人を輝かせたい

ショコラティエ・チョコアイカとしてチョコレートブランドを運営する小林さん。昨年10月末、フランスのショコラ愛好家団体・C.C.C.が主催する世界的なチョコレート品評会に『地球の奇跡』を出品し、外国人枠アワード賞で金賞、審査員5人全員が満点をつけ史上初の完璧賞を受賞した。

「高校時代にNASAで見た地球の映像がきっかけで、地球のように美しく、日本の精神を宿したチョコレートを作りたいと思いました」

チョコレート作りに目覚めたのは社会人2年目。「仕事で悩み、ふさぎがちだったときに目にしたのがショコラティエが主人公のテレビドラマ。美しいチョコレートに心が高まり、枯れた心が潤っていきました」

チョコレートで起業すると決めて退社。世界一周旅行で7カ国31都市を訪れて帰国し、故郷である本市の工房でチョコレート作りを開始した。

「前橋市は創作する場としてちょうどいい緩さがあり、その中で生まれる会話や出会いが心地良い場所



大学で学んだ物理学の知識をチョコレート作りに生かしている小林さん。

「分子レベルでこだわって作ることで、表面が輝き口溶けが良いチョコレートになります。今度は私がこのチョコレートで人を輝かせる番」と声を弾ませる。

今後は本市のふるさと納税の返礼品として提供予定。本市を拠点にパリでの出店や馬場川通りにチョコレートのテーマパークの開設も夢見ている。



旬な農産物や生産者を紹介するこのコーナー。
今回は市花共進会を紹介します。

channel 26 市花共進会

農政課
027-898-6707



今回で74回目を迎える市花共進会。市内花卉農家の皆さん、丹精込めて栽培した花卉を持ち寄り、その技術や出来栄えを競い合う歴史ある品評会です。

出品部門はサクラやハナモモなどの枝物、バラ、サボテン。毎年、140点程度が出品されます。審査後は出品物を展示・販売。また、バラの香り体験ブースでバラごとの香りの違いや花びらの違いを感じてもらったり、先着100人に花の無料配布をしたりなど、来場者が楽しめるイベントもあります。

同共進会の主催団体の1つであるJA前橋市花卉連絡協議会会長の松村敏志さんは、市内でサボテンを栽培しています。

「今年は例年より2~3週間早く花が開いています。このままで出来のよいものを出品できるはず」と意気込みを語ります。

今回出品される花卉の多くは普段市場に出荷され、市内には直接流通しないものばかり。



「こういう機会を通じて市民の皆さんに私たちがどんなものを栽培しているか知ってもらえたうれしいですね」と松村さんは言います。

年に一度、市内で栽培された自慢の花々が見られる貴重な場。皆さんぜひお越しください。

時 2月19日(木)〈展示〉11時30分~13時30分
〈展示物の即売〉14時~16時(売り切れ次第終了)13時30分から抽選券を配布、14時から入場順の抽選を実施)
場 県庁1階県民ホール北側

CITY フォーカス

本市のイベントや
事業などを紹介

縁起物を求めてぎわう

1月9日に初市まつりを開催しました。役目を終えた古だるまのお焚き上げや御神体を仮宮に移す渡御の儀を実施。無病息災や商売繁盛を願いました。本町通りには福だるまなどの縁起物や食べ物などの露店が出店。400年以上受け継がれる新春の風物詩は、多くの人でぎわいました。



防火への心をひとつに

消防隊員の団結と士気の高揚を図るため1月10日に楽歩堂前橋公園で消防隊出初式を開催しました。分列行進やはしご乗り、ミニ消防車の乗車体験などを実施。新年を迎えた節目に防火意識を高めました。恒例のはしご乗りでは約7mのはしご上でさまざまな技を披露。訪れた人を魅了しました。



新たな門出20歳を祝福

1月11日、はたちのつどいを日本トータルグリーンドーム前橋で開催しました。企画運営委員が制作したオリジナルムービーの上映や、景品が当たる抽選会などを実施。振り袖やスーツなど晴れ着姿の参加者は、旧友との歓談や記念撮影を楽しみながら、二十歳の門出を祝いました。

